

# みやにっとうしん 宮二通信

2005/5/30

第11号

## 新しい食料・農業・農村基本計画について

平成 17 年 3 月 25 日に、新しい食料・農業・農村基本計画が閣議決定されましたので、今回はその内容を簡単にお知らせします。計画の主要な柱は以下のとおりです。

### ○ 食料自給率

今後 10 年間で、カロリー（供給熱量）ベースの自給率を 40%（2005 年）から 45%（2015 年）に、また新たに設定した生産額ベースの自給率を 70%（2005 年）から 76%（2015 年）に引き上げることとしています。

新たに設定した生産額ベースの自給率を設定した理由は、農業経営者はカロリーベースの自給率を引き上げるために生産している訳でなく経済的成果を得るために生産しているので、農業経営者の日頃の活動や営農目標の成果が素直に反映される指標が望まれたこと、カロリーベースの自給率では日本の農産物の高い付加価値が反映されない問題があったからです。

### ○ 担い手の育成

「効率的かつ安定的な農業経営及びこれを目指して経営改善に取り組む農業経営」および「一元的に経理を行い法人化する計画を有する等、経営主体としての実体を有し、将来、効率的かつ安定的な農業経営に発展することが見込まれる集落営農」が「担い手」と定義されました。個別経営は、経営者能力が高くても農地の広域分散に弱みがありますが、集落営農では農地の分散はあらかじめ回避されている強みがあります。

今後は施策を担い手に集中化・重点化することとしており、現在、農林水産省、地方公共団体、農業団体が総力を上げて担い手の育成に努力しているところです。

### ○ 新たな経営安定対策（品目横断的施策）

WTO の国際規律強化に対応できるように、現在の品目別の価格対策を担い手の経営安定を図るための品目横断的施策に転換します。具体的には、複数作物を組み合わせて営農する水田作および畑作について、以下を平成 19 年度から導入する予定です。

- ① 諸外国との生産条件格差を是正するための直接支払い
- ② 収入・所得の変動を緩和するための補填対策

### ○ 農地・農業用水等の資源保全施策

地域共同で守られてきた農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給や多面的機能の発揮の基礎となる重要な社会資源ですが、農村の過疎化、高齢化、混住化等によりその適切な保全管理が困難になりつつあります。このため農業者だけでなく、地域住民、都市住民、NPO など多様な主体の参画を得て、これら資源の適切な保全管理を行うとともに農村環境の保全にも役立つ効果の高い地域共同の取り組みを促す新たな資源保全施策を支援を平成 19 年度から導入する予定です。

## 平成17年度宮川流域の渇水について

今年度の3月、4月の降雨が例年の34%（宮川ダム地点）と少ない上に、主水源である宮川ダムの選択取水設備工事の影響で貯水位制限を受けたことや粟生頭首工の上流にある三瀬谷ダムの上流護岸災害復旧工事（H16年被災）の関係で貯水位制限を受けたことなどが重なり、当地域では例年になく渇水となっています。



【宮川ダムの選択取水設備工事】



【平成16年9月 台風21号時の三瀬谷ダム】

渇水対策として宮川用水土地改良区では、かんがい開始前から地元で節水を呼びかけ、かんがい通水当初より地域を2分して隔日通水を実施したり、代掻きの分散化を呼びかけるなど取水量の減少に努めている他、地区内排水路などに仮設ポンプを15ヶ所設置し、反復利用に努めていますが、このまま雨が降らなければ、ダムの発電容量からの農業用水への融通も考えなければならない状況にあります。

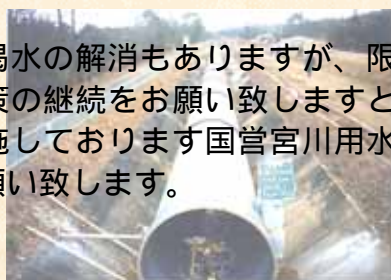


【地区内の給水制限呼びかけの立て札】



【地区内反復利用のための仮設ポンプ】

今後の降雨状況により渇水の解消もありますが、限られた水源が涸渇しないよう受益農家の方々に節水対策の継続をお願い致しますとともに、安定水源及び用水供給の確保のために現在実施しております国営宮川用水第二期事業の推進につきまして、御理解と御協力をお願い致します。



## 地域で開催された五穀豊穡の祭り

5月に入り各地で五穀豊穡を願う祭事でにぎわっています。この地域周辺では猿田彦神社で「御田（おみた）祭」、多気町長谷で「車田の御田植祭」の祭事が行われました。

「御田祭」は5月5日に行われ、酒や魚や果物などの神饌（しんせん）が行われた後、太鼓や笛の音が流れる中、桃山時代の衣装を着た植方が、約500m<sup>2</sup>の神田に昔ながらの手作業で苗を植えました。収穫は8月下旬の予定で、11月23日の新嘗祭に供えられるそうです。



【御田祭の神饌風景】



【御田祭の田植え風景】

「車田の御田植祭」は5月8日に行われ、豊作を願う神事後、太鼓の音が鳴り響く中、花笠姿の早乙女らが、半径11mの車田に円を描くように苗を植えました。収穫は9月の予定で、近長谷寺、佐奈神社、伊勢神宮に奉納するそうです。



【車田の田植え風景（多気町提供）】

## 花物語



【あやめ（菖蒲）】

アヤメ科の多年草。日本の全域に自生。葉は剣状で地下茎から群がり生える。高さ約60センチメートル。五月、六月頃花茎を出し頂端に径約8センチメートルの青紫色または白色の花菖蒲に似た花を付ける。



【てっせん（鉄線）】

キンポウゲ科のつる性の木質多年草。中国原産。日本には寛文年間（1661 - 1673）に渡来し観賞用に栽培される。茎は細く長く伸び、羽状複葉を対生。6枚ものは「鉄線」8枚ものは「風車」『クレマチス』はこの2つの総称。

## 言葉で綴る伊勢の旅 (第2回)

伊勢弁は柔らかい響きの「な」言葉が特徴です。アクセントは、関西弁に似ているようです。

当所では、豊かで魅力あふれる地域の農政実現のため事業を行なっていますが、これらの事業を実施するためには皆様の土地をお譲りいただく場合があり、お互いに理解するため地元の皆様と話し合うなかで、「いまし」「なんね」「なっとよ」「なっとしよう」などなどの言葉を教わりました。特に「あーほーなん」は、「アホなの」ではありませんでした。

今回は、「～なさいよ」と勧めるときに使う言葉です。

「～ない」 否定の言葉ではありません。

「おいない」は、おいで、来なさい。

「乗んない」は、乗りなさい。

「これ食べない」と言うのは、「どうぞ食べてね」という意味で遠慮はいらぬそうです。

## 工事案内

### 平成16年度 併設用水路工事完成！！(多気町笠木、土羽)

平成16年度に施工致しました、併設用水路工事(約1.46km)は3月末で完成し、供用が開始されております。工事期間中は周辺住民の方々に多大なご迷惑をお掛けしました。

なお、本年度も当該箇所において整備工事(舗装、カドレール設置等)を7月から予定しておりますので、ご協力の程宜しく申し上げます。



平成17年度併設用水路工事予定  
外城田駅向い～斎宮池の間約600m  
(多気町土羽、玉城町上田辺)

編集・発行：東海農政局宮川用水第二期農業水利事業所

〒516-0802 三重県度会郡御園村大字新開 892

0596(31)0555 FAX 0596(31)0510

東海農政局宮川用水第二期農業水利事業所玉城支所

〒519-0414 三重県度会郡玉城町佐田 1769

0596(58)8787 FAX 0596(58)8810

ホームページアドレス

<http://www.tokai.maff.go.jp/nougyou/seibi/kensetu/miyagawa/miyagawa.htm>